

# 最後の夏にかける思い ― 3年生に聞く ―

―3年生になりましたが、これまでを振り返って今の心境は？また、夏の大会に向けての意気込みを教えてください。



主将 山本 <sup>だいご</sup>大瑚さん（伯耆町） ポジション：ピッチャー

「野球がしたくて1年生の時に転校してきました。当時の3年生が引退し、自分たち1年生3人だけになった時は『やめたい』と考えたこともありましたが、親や監督との約束、サポートもあり続けてこれました。

印象に残っているのは、1年生の時、境高校との試合で9回まで1点差で勝っていたのに、自分が出て失点し負けてしまったことです。それをきっかけに毎日の練習にも身が入り、その結果、昨年の夏大会のような成績を残すことができました。その大会以降、地域の皆さんに声を掛けられることも多く、中には涙ぐんでくれた人もいました。すごくうれしかったです。皆さんの応援に応えるためにも、悔いの残らない試合をしたいです。今年は、米子市で行われるので、ぜひ応援に来てください」

「一時期、同級生3人だけになり、寂しい時もありましたが、基礎体力作りなどに一生懸命励んできました。そのおかげもあり、今年に入ってからバッティングの調子が良く、練習試合で毎回ヒットが打っています。そんな自分の成長を実感でき、大変ですが今は野球ができてとても楽しいです。

地域の皆さんの応援はとても励みになりますし、うれしいです。今の調子のまま、昨年の大会のように勝てるよう頑張ります」



池口 <sup>しゅんや</sup>隼矢さん（米子市） ポジション：レフト

「1年生の時、ケガで練習もできずくじけそうになったこともありましたが、でも、ほかの2人が頑張っている姿を見て、自分も今までやってこれました。

また、日野高で野球をやっていてうれしいのは、地域の皆さんが『自分たちを見てくれている』と実感できるところです。地域の人の応援はとても励みになっています。大会では、日ごろの練習の成果を生かして頑張りたいです。当日、会場に来れなくても応援していただけると嬉しいです」



石飛 <sup>いつき</sup>樹さん（日南町） ポジション：ファースト

## 『人として成長するきっかけになれば』 ― 監督に聞く ―

野球部監督 野口 真吾さん（根雨）

―大会に向けての意気込みを教えてください。

「これまで練習試合などを重ね、守備などだいぶ形になってきました。今のところバッティングが課題ですが、調整しながら上げていきたいです。1・2年生が多く、若いチームなので『化ける』可能性が大いにあります。応援してくれている家族や地域の皆さんのためにも、自分たちの持っている力を発揮してほしいです」

―野球を通して部員に期待していることは何ですか？

「昨年の夏大会以降、部員たちに自信だけでなく、『地域に支えられた野球部』という自覚が芽生えてきたと感じています。そうした経験の積み重ねが人として成長できるきっかけになると考えています。そして、部員たちには野球を通し『自分で気付き行動できる人』『社会や地域に貢献できる人』に近づいてほしいと願っています」



昨夏、全国高校野球鳥取大会で10年ぶりのベスト8入りを果たした日野高校野球部。「もつ奇跡と呼ばせない」。今年の春新たに加わった仲間たちと共に、さらなる高みを目指す。3年生にとっては最後の夏となる今年、さまざまな思いをのせて日野高校野球部の夏が今、始まる。

# もう『奇跡』とは呼ばせない。今始まる、日野高校野球部の夏



大会に向け、熱心にアドバイスを送る野口監督



理想のスイングを追求



練習試合を重ね際どいプレーでの守備力も向上



基礎体力向上のため、野球場までの約2.5kmをランニング